

後期基本計画 平成 3 1 年度 政策方針書

政 策： 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

担当部長職・氏名	経済産業部長 長内 司善
----------	--------------

1. 政策の実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	目指す姿は「競争力・市場性のある産業と、安定した雇用・定住・後継者育成が循環的に発展するまち」です。各産業分野と労働力が、滝沢市の特性や地域資源を活用しながら、交流人口、異業種連携、付加価値などによりバランスよく発展するとともに、市民や地域が潤っている状況です。	
--	---	--

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成34年度	進捗率(%)
1	暮らし 自分の仕事に満足している人の割合 単位 %	55.1	57	58	60	61	61	- 0.0
2	幸福 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じる人の割合 単位 %	36.3	40	43	47	50	50	- 0.0
	単位							

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成34年度	進捗率(%)
1	暮らし 03010000 地域の潤いにつながる観光資源の発信 滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合 単位 %	41.9	43.9	46	48	50	50	- 0.0
2	幸福 03010000 地域の潤いにつながる観光資源の発信 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	76	77	78	80	80	- 0.0
3	暮らし 03020000 ICT関連企業集積と産学官連携の推進 法人事業所数 単位 所以上	956	956	956	956	956	956	- 0.0
4	幸福 03020000 ICT関連企業集積と産学官連携の推進 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	36.3	39	43	46	50	50	- 0.0
5	暮らし 03030000 農林業の振興と担い手の支援 農業後継者（販売農家）の有無の割合 単位 %以上	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	- 0.0
6	幸福 03030000 農林業の振興と担い手の支援 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で生かせる機会があると感じる人の割合 単位 %	36.3	39	43	46	50	50	- 0.0

後期基本計画 平成31年度 政策方針書

政 策：03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

担当部長職・氏名	経済産業部長 長内 司善
----------	--------------

2. 政策の実現に向けての現状を認識する

(1) 政策目標の進捗状況分析

盛岡西リサーチパークや、イノベーションセンター・同パークには、今後本市産業の核となると思われる企業が集積しつつあります。また、第1次産業においても、特産物、ブランド化、販促など、毎年あらたな取り組みが民間で活発に行われています。

一方で、都市一極集中等による人手不足は継続しており、労働力は売り手市場化は明確です。また、農業分野、市内小規模企業などでは、後継者不足などによる事業の承継等の将来に不安がある状況です。

(2) 政策の実現に影響する社会環境変化

世界規模では、TPP11をはじめとした関税引き下げ協定、低価格化競争、新商品などに対する、第1次産業等市内生産者等に、先行きの不安感があります。また、人材不足、高齢化による事業の継承についても、色々な課題が生じてきています。

一方で、インターネットや物流は以前成長が続いており、本市農業や中小企業にも直接関係しています。ICT関連の今後の成長によっては生産、PR、決済、開発などに大きな影響を及ぼすことが推測されます。

更に、海外市場についても、外人観光客の入込を含め、各産業への影響が広がりつつあります。

3. 政策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 政策の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針

- ・「地域の潤いにつながる観光資源の発信」については、ビッグルーフ滝沢と連携しながらイベント開催による各種情報の発信をします。観光物産については、既存の自然や文化、ブランドをいかしつつ、新たな地域資源のほりおこし、新たな情報発信、観光地としての受け入れ態勢（おもてなしの心など）の整備等に努めます。
- ・「ICT関連企業集積と産学官連携の推進」については、イノベーションセンター・パークを拠点とした産学官連携を推進し、人材育成、地域課題等、プログラミング教室などに取り組みます。また、新たな産業拠点についての検討を行います。
- ・「農林業の振興と担い手の支援」については、農地集積の推進、畜産の振興により、次代の担い手の育成・確保に努め、日本型直接支払制度や森林整備を推進し、農地や森林が有する多面的機能の持続的な発揮を目指します。また、産直施設のネットワーク化や食育と連携した食の安全・安心を基本とする地産地消を推進し、第6次産業等と複合的な、持続可能な農林業を育成します。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成31年度の重点課題

- ・「地域の潤いにつながる観光資源の発信」については、ビッグルーフ滝沢を活用した情報発信に取組みます。また、平成28年度に実施した「馬資源を活用した農産物のブランド化・地域共創事業」のとりまとめ、展開を図りながら、地域資源を活用した新たな観光政策のありかたについての検討を始めます。
- ・「ICT関連企業集積と産学官連携の推進」については、企業誘致を促進するとともに、人材と企業がともに成長しやすい環境整備や、IT関連企業と地域の連携を推進します。また、新たな産業用地や企業振興の基本的方針の検討に努めます。
- ・「農林業の振興と担い手の支援」については、農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積の推進、日本型直接支払の推進と産直や食育と連携した地産地消を推進し、持続可能な農業経営体の育成を図ります。また、森林環境譲与税によ

(3) 基本計画内方針及び平成31年度重点課題に基づく優先順位の考え方

- ・「地域資源を活用した戦略的な産業振興」については、観光等の情報発信や新たな観光戦略について取り組むほか、馬事文化の詳細記録保存について検討します。
- ・「ICT企業集積と産学官連携の推進」については、継続的な企業誘致の推進、地元企業の振興、ICTによる地域課題解決等、SIC周辺への企業誘致等について検討します。
- ・「農林業の振興と担い手の支援」については、農地中間管理事業による農地集積の推進、日本型直接支払の実施、畜産振興を支援する相の沢牧野の運営管理や新たな森林環境譲与税を活用した森林活性化の長期計画を検討します。

